

一般質問



予算確保を含めた 道路施設の維持管理

青木 謙順 議員 自由民主党/津市選出



問 人件費や材料費の高騰が続くなか、道路施設の安全・安心を確保するためには、維持管理のための予算確保や、効率的・効果的な管理の推進が必要です。老朽化する道路施設の維持管理について、予算の確保も含め、どのように進めていくのかお聞かせください。

答 県では、道路施設の損傷後に修繕する「事後保全型」の維持管理から、損傷が進む前に計画的に修繕する「予防保全型」の維持管理への転換を図り、トータルコストの抑制に努めています。
今後も、国の予算を最大限活用するとともに県単独事業の予算も確保しながら、地域の事情などに応じて安全・安心な道路環境を確保するため、効率的・効果的に維持管理を推進します。

その他の質問事項

- 「ONSEN」を共通語として世界に発信することが、観光成長戦略となる
- 農業の振興は、新しい発想で未来につなぐ



大阪・関西万博への子ども招待

吉田 紋華 議員 日本共産党/津市選出



問 県は、小・中・高の児童生徒の校外学習等の支援として、大阪・関西万博のチケット代を補助する事業を実施しますが、万博会場ではメタンガスによる爆発のリスクが指摘されています。教育委員会として、安全面での課題が指摘されていることについて、どのように考えているかを伺います。

答 大阪・関西万博を校外学習等で訪れることは、子どもたちの視野をグローバルなものとするなど、体験活動の一つとしても有意義であると考えています。安全面については、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会において対策が講じられると聞いていますので、訪問する各学校においては、協会の対策を踏まえ、安全に万全を期して参加されるものと認識しています。
今後とも、安全対策の徹底状況を注視し、適時適切な対応に留意します。

その他の質問事項

- 学校性教育の現状と、包括的性教育の観点での生理用品の使い方の児童への指導
- みえの縁むすびマッチング事業の令和5年度の成果と今後の事業の在り方について



UIJターン

龍神 啓介 議員 自由民主党/津市選出



問 昨年度の「みえ現場de県議会」の参加者の若者から、就職の際に情報を探すために県のサイトを利用したが分かりづらかったとの声がありました。三重県に戻りたいと考えている方に寄り添うために、情報の一元化や網羅性を意識したサービスが必要だと考えますがいかがですか。

答 令和6年4月から、県の就職支援情報を一元的に把握できるポータルサイト「みえの仕事さがしチャンネル」の運用を開始し、県内の企業情報や求人、インターンシップ情報、県内で働き活躍する方へのインタビュー記事や就職支援イベントの動画などを掲載しています。
今後も、使い勝手の良さなどの観点から改善を行うとともに、あらゆる機会を通じてサイトの周知に努めます。

その他の質問事項

- 情報通信産業誘致について
- 学校のデジタル活用について ほか



カスタマーハラスメント対策

平畑 武 議員 新政みえ/鈴鹿市選出



問 人格を否定する暴言や、土下座による謝罪の要求、威嚇・居座り等、明らかに一般常識を超えたカスタマーハラスメントは深刻な問題です。国で法改正等を含めた議論が進められているなか、県は今後どのように対策を進めるのか、知事の意気込みを伺います。

答 物を売る人も買う人も平等であるはずが、お客様は神様であるという風潮が広まってしまっており、子どもたちの将来のためにも、このような社会を変えていく必要があると考えています。
県では、知事をトップとする「推進本部」を設置するとともに、有識者等を構成員とする「懇話会」を設置し、条例制定の検討も含め、三重県が住みやすい場所となるよう対応していきます。

その他の質問事項

- 子ども医療費補助金の対象年齢の引上げについて
- 教員を目指す若者の確保について ほか



エスコートゾーンの設置

長田 隆尚 議員 草莽/亀山市選出



問 県内では、歩道の点字ブロックはよく見かけますが、視覚障がい者が横断歩道を利用する際に手掛かりとするエスコートゾーンはあまり見かけません。県内のエスコートゾーン設置の方針と状況について、また、どこが主体となり設置していくかをお聞かせください。

答 エスコートゾーンは警察または道路管理者が設置しており、警察庁で定められた設置指針に示される、視覚障がい者の利用頻度が高い施設周辺の横断歩道などは、警察が主体となって令和3年度までに県内28カ所55本を整備しました。
引き続き、視覚障がい者の方の利用頻度や意見・要望を踏まえつつ、警察と道路管理者が連携して設置を進めます。

その他の質問事項

- リニア中央新幹線の開業に向けて
- 関西本線の利用促進について ほか



若者の人口流出対策

下野 幸助 議員 新政みえ/鈴鹿市選出



問 三重県の人口減少は、2023年で年間2万人規模となり厳しい状況です。社会減少数の約8割を15歳から29歳の若者が占めており、その数は2023年の実績で4,595人です。
10年以上続くこの傾向について、要因と対策をお聞かせください。

答 進学で県外に流出した人が、企業が多い土地で就職をして三重県に戻ってこないということが要因の一つであると考えています。
これを解決するために、三重県から出ていく若者に向けてLINEを通じた就職情報等の発信をしていくとともに、三重県に多くの企業、特にその本社が来ていただくため、今後、知事会議で、東京に一極集中している企業を地方に分散させることについて議論していきたいと考えています。

その他の質問事項

- 南海トラフ大地震、集中豪雨等大災害に向けた取り組みについて
- 令和17年国民スポーツ大会 三重県開催に向けて ほか